



2022年10月28日

各位

会社名 株式会社早稲田アカデミー
代表者名 代表取締役社長 山本 豊
(コード番号 4718 東証プライム)
問合せ先 取締役常務執行役員 河野 陽子
管理本部長
TEL 03-3590-4011

第2四半期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2022年5月11日に公表しました2023年3月期第2四半期累計期間の業績予想（連結・個別）を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2023年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2022年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 14,922	百万円 879	百万円 893	百万円 525	円 銭 27.85
今回修正予想 (B)	14,828	1,096	1,109	690	36.61
増減額 (B-A)	△94	216	216	165	—
増減率 (%)	△0.6	24.6	24.2	31.5	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	13,713	917	920	569	30.21

(2) 2023年3月期第2四半期（累計）個別業績予想数値の修正（2022年4月1日～2022年9月30日）

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 14,170	百万円 834	百万円 499	円 銭 26.48
今回修正予想 (B)	14,060	1,049	665	35.27
増減額 (B-A)	△110	215	165	—
増減率 (%)	△0.8	25.8	33.2	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	12,921	922	620	32.89

2. 業績予想修正の理由

当第2四半期連結累計期間におきましては、塾生数が順調に伸長した結果、売上高は概ね計画どおりの業績を見込んでおります。

費用につきましては、既存校の塾生数増加により集団指導の小規模校舎での売上高に対する非常勤職員の給与比率が改善されたことや、ICT活用の推進に伴って業務効率が更に向上したことなどにより労務費が予定を下回って推移していること、費用対効果を勘案し広告宣伝費・販売促進費等の予算執行の一部を下期に変更したことに加え、各種経費削減への取り組み成果もあり、売上原価・販売管理費ともに計画を下回る見通しとなりました。

以上の結果、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益ともに、前回公表の業績予想を上方修正いたします。

また、個別業績予想の修正につきましても、概ね、連結業績予想の修正と同様の理由によるものであります。

なお、通期の業績予想につきましては、上記記載のとおり、第2四半期連結累計期間で計画していた広告宣伝費や販売促進費等の予算執行の一部が第3四半期以降にずれ込むことに加え、今後、資源価格の高騰や円安進行により物価上昇の加速が予測される中で、原材料費・外注費・光熱費など費用負担の増加等が見込まれるため、現時点では、2022年5月11日付の公表数値を据え置きとさせていただきます。

(注) 上記の予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上